

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育研究室Lulu大津（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストや保育士等が専門的な視点で支援方法を提案し、共有しながらチームとして支援を行っている。	専門的な視点で定期的にアセスメントを行い、個別の支援方法を共有している。	保護者を交えた支援会議に参加し、専門的な視点からのアドバイス、助言等を行い、保護者への不安を軽減していく。
2	セラピストによる専門的支援へ向けた評価、アセスメントの実施を行っている。	セラピストが必要な評価を行い、ご利用児童一人ひとりの発達段階に合わせた課題の提供を行っている。	小集団活動の内容についての課題の提供、就学に向けた取り組みの充実化を図る。
3	保護者や園、相談員との連携を図る。	保護者や園の意向を支援の中に取り入れ、現状起きている課題や方向性の確認等を相談員さんに連絡するようにしている。	保護者との面談を定期的に取り入れ、問題解決と不安軽減に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流会やイベントの実施が不十分である。	通所事業運営がメインとなっている為、イベント開催を企画運営する人員が不足している。	人員の確保に努めたいイベント開催にあたっての情報収集を行っていく。
2	地域との交流が不十分である。	地域交流に向けた仕組みなど、知識・経験が不十分である。	子ども部会等で他事業所との連携を図り、地域交流に向けた情報収集を行っていきたい。
3	業務改善・教育体制の構築が不十分である。	活動準備や活動計画に多くの時間を費やしており、教育や研修の時間が不足している。	業務分担の内容を見直し、事例検討や研修会参加の機会を増やしていく。